

チームの応援を通じた生活満足度 幸福感の概要とモデル推定結果

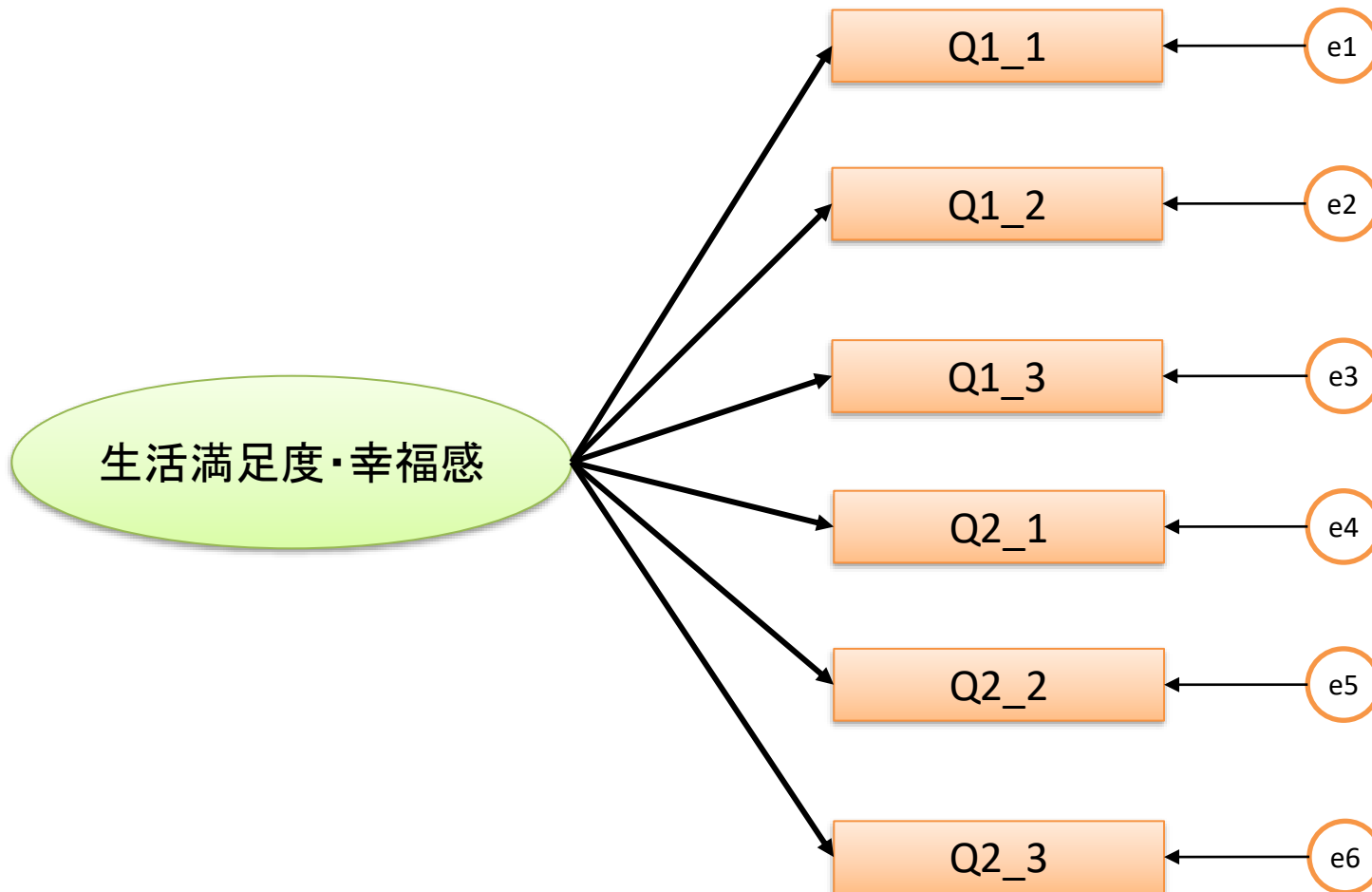
慶應義塾大学 理工学部管理工学科
鈴木秀男

生活満足度および幸福感

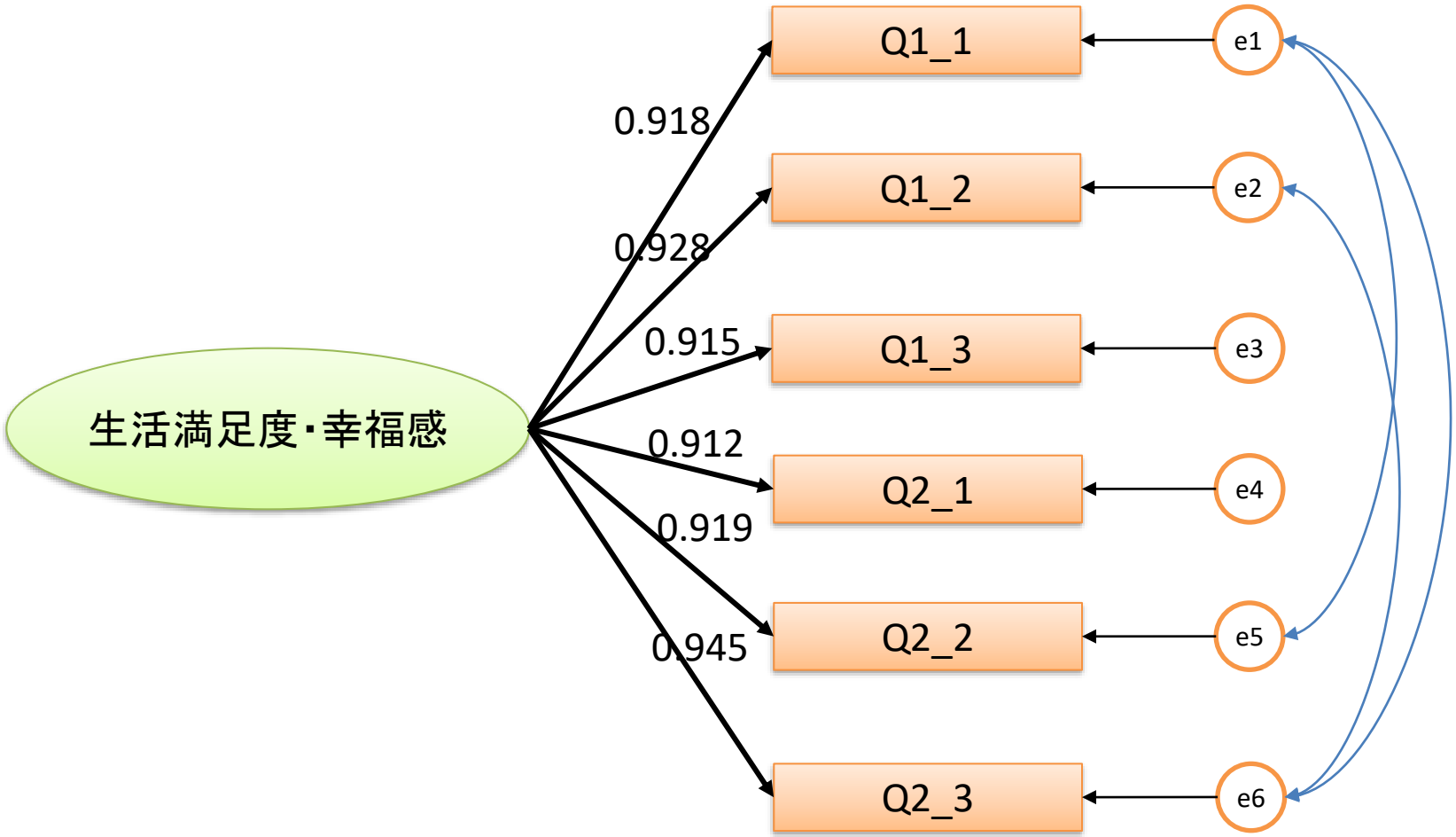
□ チームの応援を通じて、生活満足度および幸福感の度合いがどのぐらいかを調査

生活満足度	Q1_1: 現在、そのチームを応援することで、自分の生活に満足している。
	Q1_2: そのチームを応援することで、自分の生活は他人と比べて充実しているほうであると 感じる。
	Q1_3: そのチームを応援することで、自分の生活は今よりも充実していく。
幸福感	Q2_1: 現在、そのチームを応援することで、自分は幸福であると感じる。
	Q2_2: そのチームを応援することで、自分は他人と比べて幸せなほうであると感じる。
	Q2_3: そのチームを応援することで、自分は今よりも幸せになっていく。

オリジナル仮説モデル

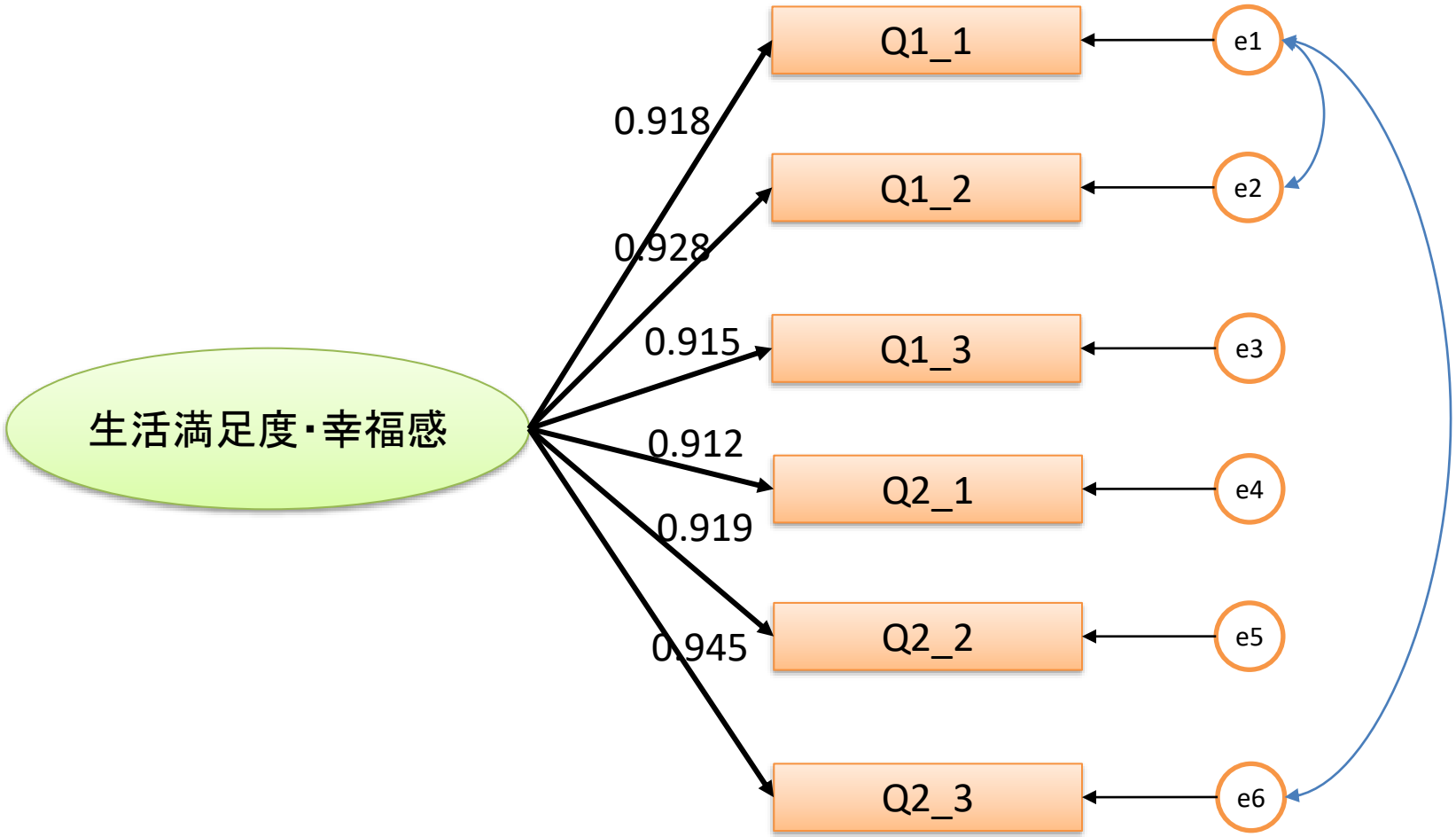


2024年1月下旬調査：モデル推定結果



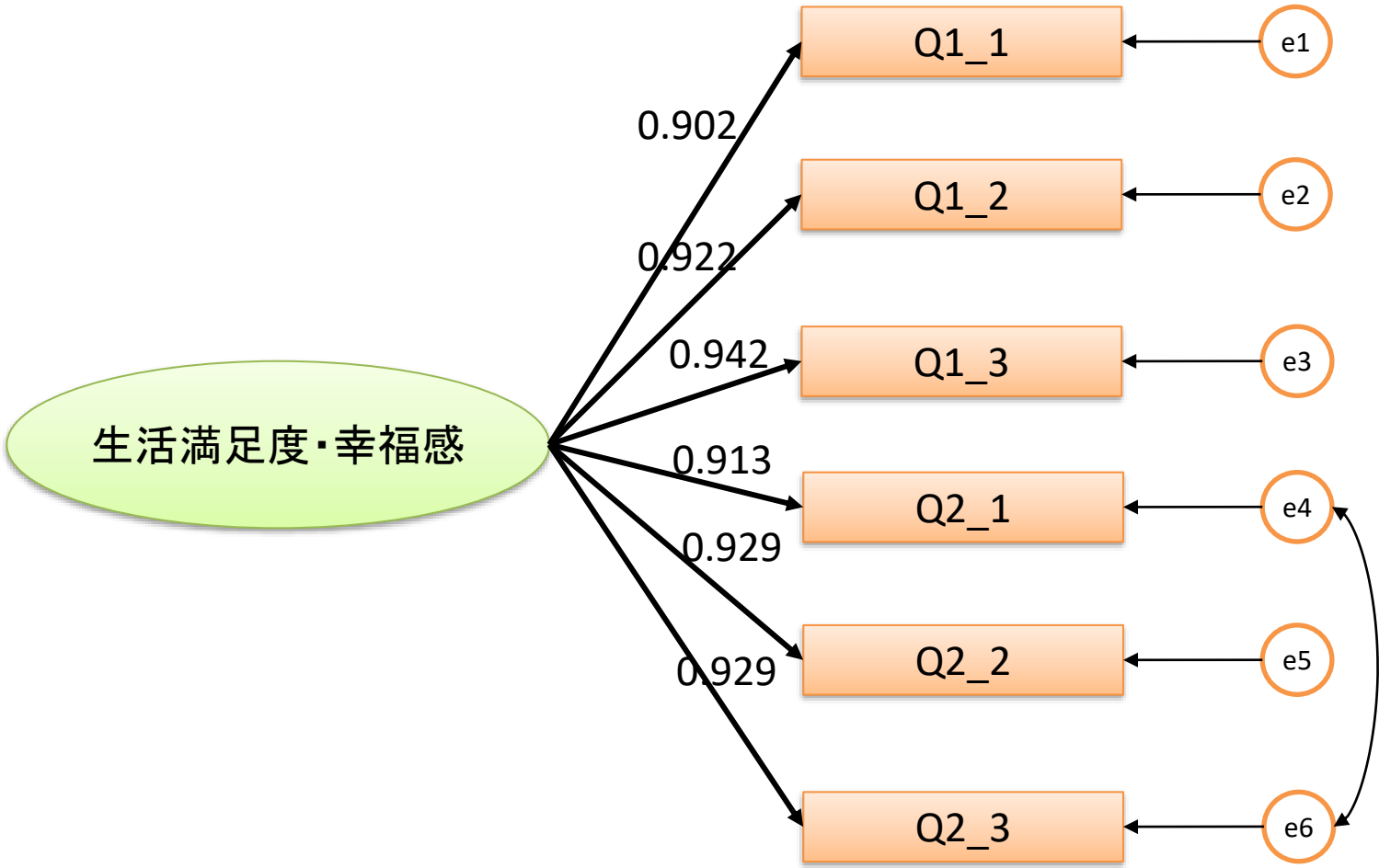
GFI =0.989, AGFI=0.960, CFI=0.994
RMR=0.020, RMSEA=0.071

2023年1月下旬調査：モデル推定結果



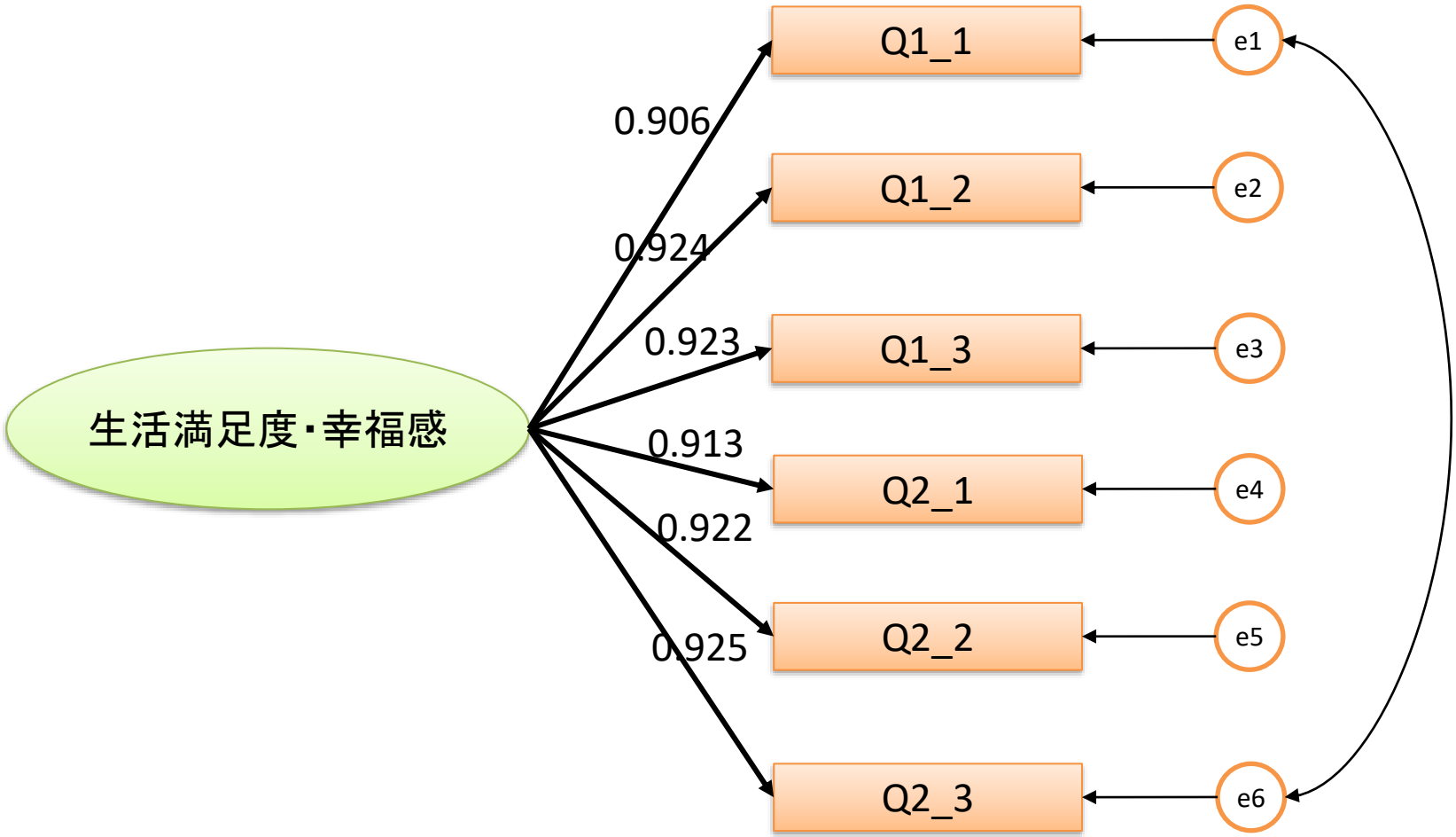
GFI =0.983, AGFI=0.950, CFI=0.994
RMR=0.023, RMSEA=0.082

参考 2022年1月下旬調査：モデル推定



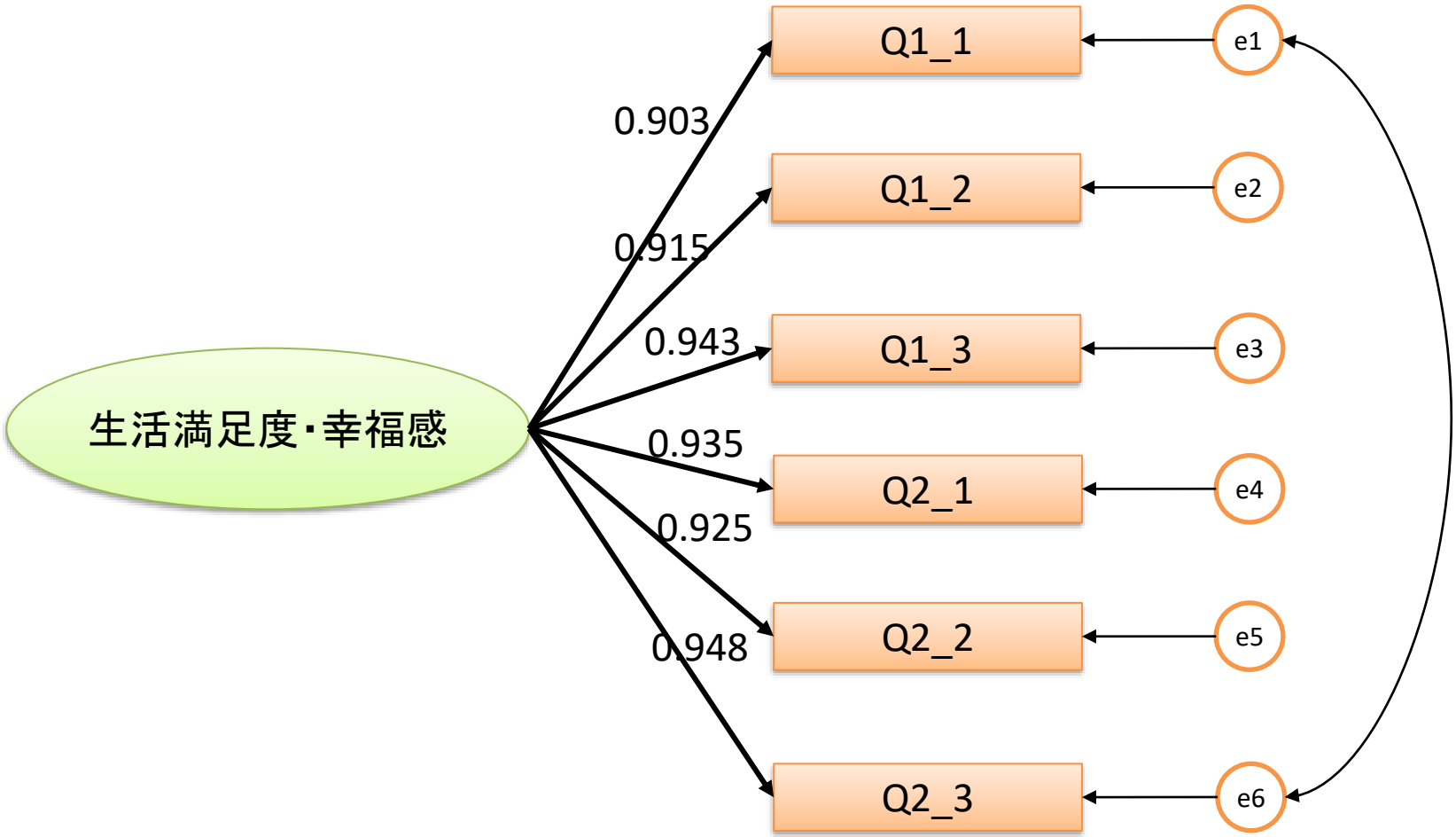
GFI =0.982, AGFI=0.954, CFI=0.994
RMR=0.027, RMSEA=0.078

参考 2021年1月下旬調査：モデル推定



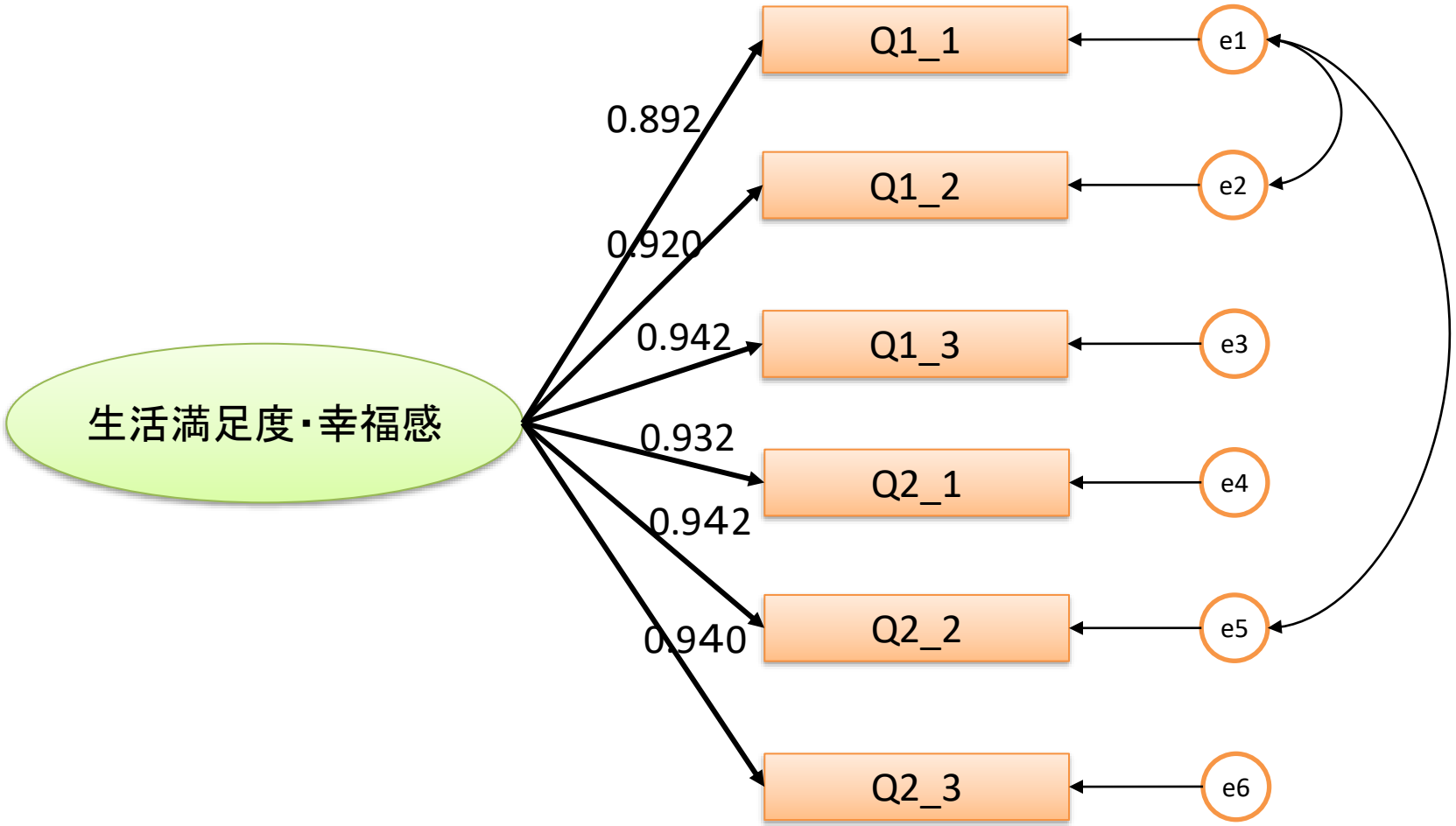
GFI =0.984, AGFI=0.958, CFI=0.994
RMR=0.028, RMSEA=0.075

参考 2020年1月下旬調査：モデル推定



GFI =0.985, AGFI=0.960, CFI=0.995
RMR=0.026, RMSEA=0.072

参考 2019年1月下旬調査：モデル推定



GFI =0.986, AGFI=0.958, CFI=0.996
RMR=0.019 RMSEA=0.073